

ぶらり昭和区MAP

～広路・川原・吹上～

ひろじ かわはら ふきあげ 広路・川原・吹上エリアって? ~そのあらまし~

この地域は、西側に吹上公園、東側には川名公園が位置し、この2つの公園を結びつけるかのように飯田街道が東西に走っています。吹上公園には、展示・イベントで有名な吹上ホールや昭和スポーツセンター・野球場など多くのスポーツ施設もあります。川名公園は近年整備され、防災機能を備えた公園としても有名です。園内には、昭和文化小劇場もあります。また、市民の手による森づくりも活発で、将来、都会の真ん中に立派な森が出現することでしょう。

都市化が進むとともに近代的な建物が多くなり、昔の様子を物語る歴史的遺産は少なくなりました。しかし、ゆくりと街を歩けば、昔の面影を残す川原神社・太平寺などの寺院や石仏などを多く見つけることができます。みなさんも新たな発見を探しながら歩いてみませんか。

昔の街道、緑がまぶしい公園。このエリアは古いものと新しいものが出会うまち。ぼくと一緒にまちの魅力を探してみよう!

C みんなの川名公園

広い川名公園には秘密がたくさん! その一部を紹介すよ!

1 環境学習の森(川名公園森づくり隊)

川名公園の南東に広がる「環境学習の森」は、地域の皆さんで結成された川名公園森づくり隊によって一から育てられました。毎月の活動日には、学生ボランティアのショウちゃん隊と力を合わせて、森や花壇の手入れなどに汗を流しています。

森にはカブトムシなどの幼虫が育つ環境を作るため、森の落ち葉や間伐材を使って手作りのビートルベッドも設置しました。昆虫たちが暮らせるような豊かな森になるといいですね。

2 昭和文化小劇場

平成28年にオープンした昭和文化小劇場は、コンサート・舞踊・演劇などの発表や練習の場として利用されており、地域の新たな芸術・文化活動のスポットとして注目されています。皆さんもこの劇場で、素敵な時間を過ごしてみたいはいかがですか。

3 遊具広場

遊具広場のスパークランドはみんなに大人気の遊び場です。1年を通して、子どもたちの元気に遊ぶ声が聞こえてきます。

4 トンボ池

昭和 cultura 小劇場の北側にあるトンボ池は、地域の皆さんが作ったビオトープで、ヤゴなどの生き物が暮らしやすい貴重な場所です。秋にはたくさんさんのトンボの姿が見られます。川名公園森づくり隊の皆さんが、定期的に草刈りや池干しを行い、池の環境を守っています。

川名公園のもうひとつの魅力を知らそう

公園内には災害の時にみんなを守るための防災施設がたくさんあるよ! みんなも知ってね!

- 災害対応型日陰棚
- ソーラー照明灯
- 災害対応型日陰棚・あずまや...シートで覆うと、救護活動などに利用できます。
- かまどベンチ...普段はベンチとして、災害時などにはかまどとして使用できます。

まちあるき 川名公園の今むかし

川名公園は昭和区の防災公園として、また環境学習の場として平成8年から整備が始まり、平成30年度に完成予定の公園です。5.5ヘクタールの敷地内には昭和 cultura 小劇場も有しています。公園の真ん中を東西に通っている園路は、かつての飯田街道です。以前はそこから何本かの小路が延び、いろいろな店が建っていました。昭和20～30年代にその辺りに住んでいた地元の方の記憶によると、一番大きな面積を占めていたのは卸売市場で、とても賑わっていたそうです。現在の川名交番のところには広路連区事務所があり、餅屋や自転車屋、医院などもありました。旧飯田街道の南側には、日本で初めて白玉うどんの自動茹で製造装置を開発した製麺所もありました。美しい格子の家が連なり、街道筋らしさを醸し出していました。また、川原通を挟んで文房具屋、欄間屋、桶屋、下駄屋などがありました。山崎川より西の飯田街道沿いには、果物屋、書店、かまぼこ屋、乾物屋、薬局、豆腐屋、パン屋、酒屋、銭湯などが並んでいました。食料品や生活必需品を扱う川名市場もありました。飯田街道は馬車やバスが走り、大勢の人が行き交うメインストリートでした。

川名公園に生まれ変わった現在、かつてとは趣が異なりますが、子どもたちの笑い声があふれる、住民の憩いの場となっています。

川名公園ができた前は、こんなにたくさんのお店があったんだね!

広路小学校付近より東方をのぞむ(昭和40年代頃)飯田街道沿いには多くの店や民家が目立ち並んでいた。

まちあるき 心と体によりそう まちのこんなスポットも...

A ライトハウス

体の不自由な人が安心して就労し、生活が送れるようにと支援している社会福祉法人です。戦後間もない昭和21年10月、愛知県盲人福祉協会として創設されました。昭和23年秋には、三重苦の障害を克服したヘレン・ケラー女史が来訪しました。

昭和32年、名古屋ライトハウスに改称されました。当初は目の不自由な人たちが主体でしたが、その後社会の変化に伴い、あらゆる体の不自由な人や高齢者も対象に支援するようになりました。港区や守山区など市内各所に関連施設が散在し、事業も幅広く展開しています。文書などの印刷、会議などの録音記録の文書への変換、サービス、マッサージ・鍼治療などが行われています。

B 広路湯

創業は昭和13年。昭和57年には建て替えをし、当時としては珍しいサウナをいち早く取り入れました。平成12年には内装を改装、男湯はバラ、女湯は小鳥のスタンドグラスが目玉を和ませてくれます。駐車場も8台あり、比較的遠方から車で見える方もいると。お湯は100%水道水を使用しており、お湯の綺麗さには特に気を使っています。薬湯は毎日種類が変わり、日替わり温泉を楽しめます。サウナの温度は高めめで、水風呂は冷却装置を介した冷水を使用しているそうです。

まちあるき まちかどの龍神様、春の桜。 にとっておきのまちの風景

F 櫛ノ木龍神

川原通から昭和土木事務所の横の急坂を上ると、マンションの駐車場の一角に、櫛ノ木龍神の石碑が立っています。昭和31年にこの地に安置されたものですが、石碑には昭和14年という文字が刻まれています。ある日、この家の奥様が川原通沿いで龍神さまが苦しんでいる夢を見たことから、その場所に確かめに行くと、石碑が捨てられていたため、持ち帰ってここにおまつりしたそうです。以来、この家では代々、龍神さまを大切にお守りしています。そんな心温まるエピソードに満ちた龍神さまです。

まちあるき 山崎川の桜

千種区平和公園の猫ヶ洞池などを水源とする山崎川は、東部丘陵地を南西方向に流れ、名古屋港へ注いでいます。昭和3年に石川橋から左右田橋まで植樹された桜は、立派な桜並木に成長し、現在では名古屋屈指の桜の名所となっています。

まちあるき 弁天さん(川名小町)

昭和区には、いくつかの昔話や伝説が今も伝えられています。どこかユーモラスだったり、ちょっと心がほっこりしたり。そんな、人々の暮らしに根ざした昔話も紹介します。

「あいつ(おにい)は、お前(おれ)の首(うしろ)を、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で...」

「お前(おれ)の首(うしろ)は、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で...」

「お前(おれ)の首(うしろ)は、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で...」

「お前(おれ)の首(うしろ)は、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で、お前(おれ)の首(うしろ)で...」

まちあるき 昭和区のおゆみ

昭和区は、昭和12年10月1日に名古屋10区制の実施により誕生しました。区名についてはさまざまな意見が出されましたが、当時の区号から昭和区と名づけられました。区のシンボルマークは、昭和62年3月に区制50周年を記念して制定されました。昭和(SHOWA)のイニシャル「S」の形のクローバーで、区の飛躍と発展を表し、幸運をよぶ四つ葉のクローバーを重ねたデザインです。

平成29年には区制80周年を迎え、川名公園で記念事業が行われました。

戦災前(昭和20年3月8日焼失)の区役所庁舎(広見町)

ぶらり昭和区MAP

～広路・川原・吹上～

製作：「ぶらり昭和区MAP」製作委員会
桜花学園高等学校インター・アクトクラブ
昭和区案内人クラブ
昭和誠議会
八事・秋中歴史研究会
協賛：名古屋昭和ロータリークラブ

昭和区まち歩きアプリ「Show MAP」
ダウンロードはこちらから
<http://yagoto-nkc.sakura.ne.jp/showmap/index.html>

発行：名古屋昭和区役所
TEL 052-735-3822 FAX 052-735-3829
2018.3 10,000部
※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。